

特殊詐欺の認知状況(令和3年5月末)

～前年に比べて、認知件数が大幅に増加～

1 県内の特殊詐欺の認知状況(令和3年5月末)

- 被害認知件数は**19件**(前年同期比+7件)
- 被害額は**約4,129万円**(前年同期比-約3,044万円)

2 令和3年5月の認知状況

- 被害認知件数は8件(前年同月比+3件)
- 被害額は約919万円(前年同月比-約4,070万円)
- 手口は
 - ・ 架空料金請求 ～1件
 - ・ 還付金詐欺 ～2件
 - ・ 融資保証金詐欺 ～2件
 - ・ ギャンブル詐欺 ～2件
 - ・ その他の特殊詐欺 ～1件

3 県内の特殊詐欺の傾向(令和3年5月中)

5月中は、還付金詐欺をはじめ、様々な手口の特殊詐欺を計8件認知しました。前年と比較し、被害額は減少しているものの、認知件数は大幅な増加傾向にあります。

- ・ **還付金があるからATMで手続きを**
- ・ **パソコンのウイルス除去費用を電子マネーで支払って**
- ・ **(身に覚えのない)当選金がある**
- ・ **(FAXが届き)融資するので、その前に手数料を支払って**

など電話やメール等でお金のお話が出たら要注意です！一人で判断するのではなく、すぐに家族や警察に相談してください！

4 被害状況など

～被害者の年齢・性別構成～

年齢	令和3年5月末(人)		
	男性	女性	計
0～19	-	-	-
20～29	-	1	1
30～39	-	-	-
40～49	-	-	-
50～59	2	2	4
60～64	2	3	5
65～69	2	3	5
70～79	1	3	4
80～89	-	-	-
90～	-	-	-
合計	7	12	19
うち65歳以上の高齢者	3	6	9

～特殊詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	令和3年5月末 件数
振込型 (犯人が指定する口座に振り込ませる)	15
現金手交型 (犯人が直接現金を受け取る)	1
現金送付型 (郵便や宅配便などで現金を送らせる)	-
電子マネー型(コンビニで電子マネーを購入させる)	3
キャッシュカード手交型	-
収納代行利用型(コンビニ決済)	-
キャッシュカード窃取型	-
合計	19